

令和元年度

森林づくり推進支援金事業実績書

令和元年12月

小布施町

1 事業総括表

(1) 一覧表

(単位：千円)

No.	事業項目	事業名	事業費	負担内訳		備考
				支援金	その他	
1	森林を支える豊かな地域づくり	野生鳥獣の被害防止にかかる緩衝帯整備	339	336	3	
2	木を活かした力強い産業づくり	県産間伐材を用いたベンチの設置	42	41	1	
3	みんなの暮らしを守る森林づくり	松林健全化推進事業の補助対象外の松くい虫被害防除	70	69	1	
合計			451	446	5	

(2) 事業実施期間

令和元年6月12日 ～ 令和元年12月7日

2 個別事業実績

No.	1	1/3
事業項目	森林を支える豊かな地域づくり	
事業名	野生鳥獣の被害防止にかかる緩衝帯整備	
事業目的	<p>(1) 地域の森林・林業の現状と課題 高山村や中野市との境にある雁田山は、山麓が集落等と隣接しているため、地域の人々の生活に深くとけこんでいる。しかし、近年、林業の衰退及び急傾斜地であることから間伐などの森林整備がほとんど行われなくなってしまい集落等に野生鳥獣が出没することがある。</p> <p>(2) 本事業の目的 (1) の課題への対応方向について記載 雁田山の健全な森林環境を保全するとともに、野生鳥獣と農村集落の共存・共栄のため、緩衝帯を設けるとともに里山を整備することを目的とする。</p>	
事業内容	<p>(1) 実施場所 小布施町雁田地区</p> <p>(2) 対象者 地域住民、農協、行政、一般ボランティア</p> <p>(3) 実施方法 鎌や太枝切鋏、ビーバー等での下草刈り及び高枝のこぎりでの枝払いを実施する。また、実施が困難な箇所については一部を委託して行った。</p> <p>(4) 事業目標及び当年度事業量 ①全体計画（平成30～令和4年度） 緩衝帯整備 距離約1,500m（各年度300m）幅15m ②令和元年度実績 緩衝帯整備 距離約300m幅15m (要綱第2第2項の交付対象外事業でないことを確認) <input checked="" type="checkbox"/> 県が交付する補助金等の交付対象となる事業ではない。 (地域発元気づくり支援金及び長野県市町村合併特例交付金を除く。) <input checked="" type="checkbox"/> 地域発元気づくり支援金及び長野県市町村合併特例交付金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 国の支出する支出金及び補助金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 国又は県が出資する財団法人等からの助成金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 分担金または負担金としての市町村支出事業ではない。 <input checked="" type="checkbox"/> その他要綱の規定する趣旨に即さない事業ではない。 (森林環境譲与税と用途が重複しないことの確認) <input checked="" type="checkbox"/> 森林環境譲与税を活用して実施する事業ではない。</p>	

事業効果	<p>(1) 事業実施による効果 (事業目的に対応する効果について記載) 野生鳥獣が身を隠せる下草を伐採することで、集落等に出没しづらくなる。森林整備を近隣住民自らが行うことにより、森林に対する意識が向上する。</p> <p>(2) 継続性 (事業又は事業効果の継続性、発展性について記載) 近隣住民による緩衝帯整備は、平成 16 年度から継続して毎年実施している。下草が 3～5 年程度で成長してしまうため、同程度のサイクルで事業箇所を変更し実施していく。</p> <p>(3) 普及性 (事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載) 雁田山麓には遊歩道も整備されているが、ウォーキングやランニング等で利用する住民も多い。また、岩松院や浄光寺といった町内有数の観光スポットもあり、観光客も多く訪れている。緩衝帯整備により下草を刈ることで、森林景観も良くなり、広く事業効果を普及することができる。</p>			
	事業実施期間	令和元年 8 月 30 日～令和元年 12 月 7 日		
	事業費	339 千円		
内 訳	実施内容	積算基礎	事業費	
	消耗品	ビーバー用替刃ほか	34,606 円	
	燃料費	ビーバー燃料@168 円×60	910 円	
	保険料	@87 円×170 人	14,790 円	
	委託料	委託一式	288,600 円	
	合計		338,906 円	

(添付書類)

- 1 事業計画図書 (位置図、見取図、設計図、設計書等)
- 2 その他地域振興局長が必要と認める書類

※ 事業内容の内訳については、別紙 (任意様式) 添付での対応も可。

2 個別事業実績

No.	2	2/3
事業項目	木を活かした力強い産業づくり	
事業名	県産間伐材を用いたベンチの設置	
事業目的	<p>(1) 地域の森林・林業の現状と課題 小布施町は県内一森林面積が狭い市町村であり、林業従事者もとても少ないため林業及び県産間伐材の利用に対する意識を醸成しづらい環境にある。</p> <p>(2) 本事業の目的 (1) の課題への対応方向について記載 県産間伐材を使用している旨を刻印したベンチを設置することで、森林税や間伐材など身近な林業への関心を高める。</p>	
事業内容	<p>(1) 実施場所 小布施町内・おぶせミュージアム中島千波館</p> <p>(2) 対象者 町民及び観光客</p> <p>(3) 実施方法 県産間伐材をベンチに加工できる事業者に発注。町内の観光スポットであるおぶせミュージアム中島千波館に隣接した中央公会堂に設置し、県産材のPRをした。</p> <p>(4) 事業目標及び当年度事業量 ①全体計画（平成30～令和4年度） 県産間伐材使用ベンチ 25基（各年度5基）設置 ②令和元年度実績 県産間伐材使用ベンチ 1基 設置</p> <p>(要綱第2第2項の交付対象外事業でないことを確認) <input checked="" type="checkbox"/> 県が交付する補助金等の交付対象となる事業ではない。 (地域発元気づくり支援金及び長野県市町村合併特例交付金を除く。) <input checked="" type="checkbox"/> 地域発元気づくり支援金及び長野県市町村合併特例交付金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 国の支出する支出金及び補助金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 国又は県が出資する財団法人等からの助成金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 分担金または負担金としての市町村支出事業ではない。 <input checked="" type="checkbox"/> その他要綱の規定する趣旨に即さない事業ではない。 (森林環境譲与税と使途が重複しないことの確認) <input checked="" type="checkbox"/> 森林環境譲与税を活用して実施する事業ではない。</p>	

事業効果	<p>(1) 事業実施による効果 (事業目的に対応する効果について記載) 県産間伐材利用の促進及び地元林業の担い手の育成。県産間伐材及び森林税活用のPR効果。</p> <p>(2) 継続性 (事業又は事業効果の継続性、発展性について記載) 町内全域にある観光スポットはその数も多く、全てに設置できずにいるのが現状である。また、住民からベンチの設置を求める声が寄せられていることもあり、効果をより普及拡大させるためには、未だ設置数が不足している。</p> <p>(3) 普及性 (事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載) 小布施町の各所にある観光スポットに県産間伐材ベンチを設置することで、住民のみならず年間100万人以上訪れる観光客に対しても県産材のPRをすることができる。</p>			
	事業実施期間	令和元年10月29日		
	事業費	42千円		
内訳	実施内容	積算基礎	事業費	
	県産間伐材ベンチ整備	間伐材を利用した木製ベンチ整備 @37,500円×1基×1.1	41,250円	

(添付書類)

1 事業計画図書(位置図、見取図、設計図、設計書等)

2 その他地域振興局長が必要と認める書類

※ 事業内容の内訳については、別紙(任意様式)添付での対応も可。

2 個別事業実績

No.	3	3/3
事業項目	みんなの暮らしを守る森林づくり	
事業名	松林健全化推進事業の補助対象外の松くい虫被害防除	
事業目的	<p>(1) 地域の森林・林業の現状と課題 公園や街路にある松はいわゆる国庫の補助の対象外であるが、それらの松に対してもいわゆる松くい虫の被害が発生している。</p> <p>(2) 本事業の目的 (1) の課題への対応方向について記載 国庫補助対象外の松くい虫被害木に対し、森林づくり推進支援金を活用し駆除することで、松くい虫の被害拡大を防ぐ。</p>	
事業内容	<p>(1) 実施場所 小布施町内全域</p> <p>(2) 対象者 地域住民、事業者</p> <p>(3) 実施方法 事業予定地は公園等公共性が高く人の往来が多いエリアのため、集積・くん蒸することが難しい。そこで被害木を破砕処理した。</p> <p>(4) 事業目標及び当年度事業量 ①全体計画（平成30～令和4年度） 破砕処理 15.0 m³（各年度 3.0 m³）</p> <p>②令和元年度実績 破砕処理 1.8 m³</p> <p>（要綱第2第2項の交付対象外事業でないことを確認） <input checked="" type="checkbox"/> 県が交付する補助金等の交付対象となる事業ではない。 （地域発元気づくり支援金及び長野県市町村合併特例交付金を除く。） <input checked="" type="checkbox"/> 地域発元気づくり支援金及び長野県市町村合併特例交付金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 国の支出する支出金及び補助金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 国又は県が出資する財団法人等からの助成金の交付を受けていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 分担金または負担金としての市町村支出事業ではない。 <input checked="" type="checkbox"/> その他要綱の規定する趣旨に即さない事業ではない。 （森林環境譲与税と使途が重複しないことの確認） <input checked="" type="checkbox"/> 森林環境譲与税を活用して実施する事業ではない。</p>	

事業効果		<p>(1) 事業実施による効果 (事業目的に対応する効果について記載) 被害木を処理することにより、次年度の被害の拡大を防止する。</p> <p>(2) 継続性 (事業又は事業効果の継続性、発展性について記載) 松くい虫による被害は、年により被害量の増減はあるものの引き続き発生している。さらなる被害拡大を防ぐため、継続して伐倒駆除を行っていく。</p> <p>(3) 普及性 (事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載) 松くい虫の被害木は、木々の緑が映える時期にも関わらず枯死し葉が赤色に変色してしまう。枯死した松を伐倒することにより、一目で景観も良くなり、広く町民に事業効果を示すことができる。</p>	
事業実施期間		令和元年6月12日～7月30日	
事業費		70千円	
内 訳	実施内容	積算基礎	事業費
	被害木の破砕処理	@36,000円×1.8m ³ ×1.08=69,984円	69,984円

(添付書類)

- 1 事業計画図書(位置図、見取図、設計図、設計書等)
- 2 その他地域振興局長が必要と認める書類

※ 事業内容の内訳については、別紙(任意様式)添付での対応も可。